

第 48 回 Pitch to the Minister 懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

○日時：令和元年 6 月 5 日(水)15:30～16:30

○場所：中央合同庁舎 8 号館 10 階 平井国務大臣室

○Pitch テーマ：大学の研究力強化～水素エネルギー社会実現への挑戦を踏まえて～

○招へい者：九州大学 佐々木一成 副学長

○出席者：平井国務大臣、左藤副大臣、幸田内閣府審議官、住田知財局長、上山 CSTI 常勤議員、中川審議官(科技)、柳審議官(科技)、横井参事官(科技)、堀野参事官(科技)、塩田参事官(科技)、

2. 九州大学 佐々木一成 副学長からの説明

- 脱炭素社会実現へのキーテクノロジーとして水素があり、九大水素プロジェクトとして大学を脱炭素イノベーションハブへ発展させていこうと考えている。
- 大学改革にはポジティブな面もあるが、世界と日々戦う中で感じる日本の大学の課題も感じている。特に人材確保(まずは博士課程強化、さらに安定ポスト確保)が課題である。スイス 在籍時は博士学生兼助手であり、助手の8割分の給与をもらいながら博士学生として研究を行っていた。日本でも博士学生にもっと投資すべきである。
- 大学は最高の成長産業であり、社会の中で失敗が許される唯一の場所である。大学の未来像として「学校」から「知的価値創造“産業”」として可能性がある。イノベーションのハブへ成長していきたい。

3. 質疑応答・議論

- 企業との関係構築は企業経験があり知り尽くしている人にやってもらう等、個人ではなくチームを組み、チームで役割分担してやることが重要という意見があった。
- 企業との連携については、魅力があれば企業は研究費を出してくれるため、ブランディングが重要であるという意見があった。
- 九州は位置的に東アジアの中心地になりうるため、その中心的役割を九大が担っていける可能性があるとの意見があった。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)